

体験価値を高めるサイトスペシフィックなホテル  
**『GALLERIA MIDO BARU』**  
 大分県別府に12月18日（金）開業



株式会社 関屋リゾート（大分県別府市、代表取締役 林 太一郎）は、別府インターチェンジに近い温泉地、堀田エリア\*に4軒目となるホテル『GALLERIA MIDO BARU』（ガレリア御堂原）を2020年12月18日(金)に開業します。

本ホテルは、土地の文化に関心があり、日常的に旅を楽しむ方に向け、別府に根付いた関屋リゾートだからこそできる、特別な体験を提供する施設を目指し、「体験価値を高めるサイトスペシフィック\*\*なホテル」というコンセプトのもと全体をデザインしました。

サイトスペシフィックなホテルを実現するために、関屋リゾートは、大分県別府市を活動拠点にアートプロジェクトを手がけるNPO法人 BEPPU PROJECT、大阪を拠点に活動するクリエイティブチーム grafとタッグを組みました。

温泉、食、空間、アートを贅沢に楽しみながらホテルでゆっくりしたり、ホテルを拠点に別府の町をアクティブに楽しんだり、おもしろい時間をお過ごしください。

\*堀田エリア：別府市の西の玄関口で、別府インターチェンジの近くに位置します。湯治場として江戸時代に開かれ、湯布院や大宰府等へ通じる交通の要所でもあります。

\*\*サイトスペシフィック：土地や場所の特性を生かして制作される芸術作品やプロジェクト

#### 施設概要

名称	GALLERIA MIDO BARU   ガレリア御堂原
開業日	2020年12月18日
住所	大分県別府市堀田5組
面積等	敷地 7,268㎡・延べ床面積 2,950㎡
部屋数	35室
料金	ルームチャージ 40,000円（税別）※最多価格帯
温泉・泉質	各部屋に天然温泉露天風呂付 硫黄泉
ウェブサイト	<a href="https://beppu-galleria-midobaru.jp">https://beppu-galleria-midobaru.jp</a>

## SPACE

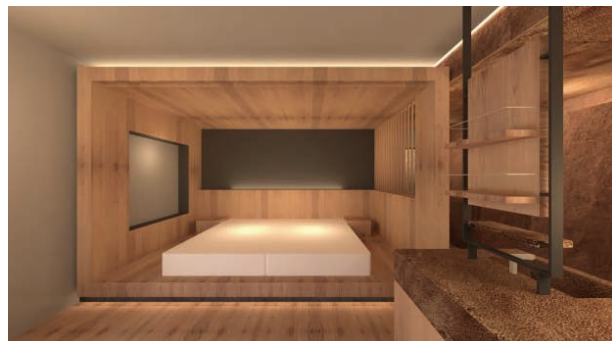
### 建築・空間について



外側と内側が交互に登場する特徴的なつくりは、別府の地質や断層をイメージしています。ロビーテラスからは別府湾を一望する景色を見渡すことができます。館内には、現代美術家 大巻伸嗣<sup>おおまきしん</sup>をはじめとするさまざまなアーティストによる別府を題材にしたアート作品が設置されるなど、別府に徹底的にこだわった空間になりました。この土地を想起させる壁面の質感や路地の多い別府の町をイメージさせる建築構造、天候や季節を直接的に感じる空間は、宿泊者に別府という土地を強く印象づけます。

### 客室について

客室は天然温泉露天風呂付で全35部屋。別府を一望する高台に位置し、弱酸性低張性高温泉・硫黄泉が湧く堀田温泉の湯を、各お部屋でお楽しみいただけます。



### 客室価格設定一覧

部屋タイプ	部屋数	定員	室料
ツイン・キング	12	2～3	¥35,000～
DXツイン・キング	16	2～3	¥40,000～
ギャラリーキング	5	2	¥45,000～
2ベッドルーム スイート	2	5	¥100,000～

\*消費税別。

\*季節、曜日により価格は異なります。

\*別途入湯税がかかります。

### その他の共用部について

- ・バースペース『HOT SPRING BAR』をホテル2Fに設けます。バーだけでなくカフェタイム営業も実施します。
- ・別棟のレストラン『THE PEAK』では、地元食材を中心としたグリル料理などを提供します。連泊するお客様がお好みに合わせて選択できるようなメニュー構成をご用意します。ディナーだけでなくランチタイムも営業します。
- ・お客様のご希望に応じて、食事の有無、町に出て食べる、ホテルで懐石料理を食べる、など幅広い選択肢をご用意しています。
- ・ランチおよびカフェタイムは、宿泊客以外の方もご利用可能で、館内に設置したアート作品もご覧いただけます。



共用部イメージ



## ART

### 館内に設置するアート作品について

館内に設置される作品は、今注目すべき日本人アーティストがこのホテルのために制作した作品を中心に、施設内各所に設置します。

設置されるアートは、別府のワイド [遠景] とマクロ [近景] の視点を往来することで見えてくる、別府の気配を表しています。

湯けむりたなびく青空、夕暮れの路地裏、浴衣の模様、旅人の何気ない会話。

マジカルな魅力を併せ持つ「別府」の、ある場所・ある瞬間からインスピレーションを得て生まれた作品たちは、この町と繋がるための扉、想像力を広げる窓となり、『GALLERIA MIDO BARU』から始まる、新たな旅へとゲストを誘います。

### 参加アーティスト

青木美歌、泉イネ、大巻伸嗣、オレクトロニカ、草本利枝、鈴木ヒラク、中山晃子、西野壮平、ネルホル

(2020年10月26日時点、50音順)

### イメージ

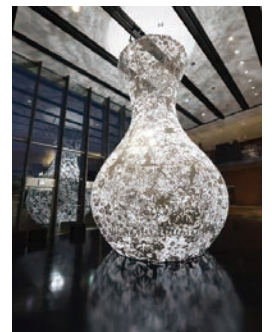
画像は参加アーティストによる過去の作品一覧



1 青木美歌 / MIKA AOKI  
Her Songs Are Floating / 2007年  
photo: Toshisato Komaki



2 泉イネ / INE IZUMI  
未完本姉妹 灰色い部屋 / 2008年



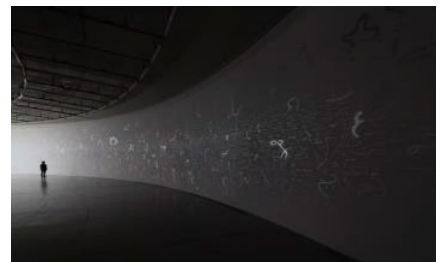
3 大巻伸嗣 / SHINJI OHMAKI  
重力と恩寵 / 2016年  
撮影: 怡土鉄夫



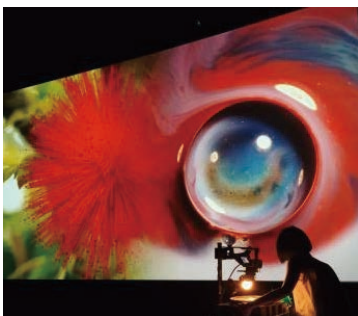
4 オレクトロニカ / OLETRONICA  
Wood sculpture / 2020年



5 草本利枝 / TOSHIE KUSAMOTO  
YUKEMURI / 2015年



6 鈴木ヒラク / HIRAKU SUZUKI  
歩く言語 / 2015年  
撮影: 小山田邦哉



7 中山晃子 / AKIKO NAKAYAMA  
Akiko Nakayama Solo Performance at  
LA B30 Festival / 2018年



8 西野壮平 / SOHEI NISHINO  
Diorama Map Amsterdam / 2014年



9 ネルホル / NERHOL  
Wild Guppy / 2018年

## ABOUT

### 株式会社 関屋リゾート

1900年、別府市内で『関屋旅館』を開業。2005年に露天風呂付客室のデザイナーズ旅館『別邸 はる樹』、2015年に『テラス御堂原』を開業し、別府市内に3施設を展開している。

『お客様の人生の質を高める』を方針に運営している。

### 代表取締役 林 太一郎より

ホテルに求められるニーズも多様化するなか、これまでの「当たり前」だった画一的なサービスではなく、お客様1人ひとりに応じた新しいスタイルの滞在を実現するお手伝いをしたい。

別府を拠点とする私たちだからこそ案内できるサービスやアクティビティをつくりたい。そうして、お客様の多様な視点を通じて、「別府」の魅力が世界に発信されることを願っています。

## PROJECT MEMBER

### コンセプト立案・クリエイティブディレクション・VI計画・ファニチャーデザイン

#### graf (大阪府) 代表取締役 服部滋樹 / Shigeki Hattori

クリエイティブディレクター、デザイナー。美大で彫刻を学んだ後、インテリアショップ、デザイン会社勤務を経て、1998年にインテリアショップで出会った友人たちとgrafを立ち上げる。建築、インテリアなどに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手がけ、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。

### 建築設計(建築及び空間デザイン)

#### DABURA.m株式会社(大分県大分市) 代表取締役 光浦高史 / Takafumi Mitsuura

神奈川県川崎市生まれ。一級建築士。早稲田大学理工学部建築学科を卒業後、2000年から2007年まで青木茂建築工房(当時大分市)に所属。2009年池浦順一郎と『DABURA』の活動をスタートし、2015年『DABURA.m株式会社』を設立。大分を拠点として、「場所や地域の固有性の創出」、「利他的な建築」をテーマに建築設計、空間再生、地域デザインに取り組む。グッドデザイン賞や九州建築選など多数受賞。大分の二つの大学で非常勤講師として教鞭を執る。

### コンセプト立案・作家キュレーション・アートキュレーション・制作管理

#### NPO法人 BEPPU PROJECT (大分県別府市) 代表理事・アーティスト 山出淳也 / Jun'ya Yamaide

文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002~04)。アーティストとして国際的に活躍した後、2004年に帰国。2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。

混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー(2009~)、第33回国民文化祭・おおいた市町村事業 アドバイザー、文化庁 審議会 文化政策部会 委員(第14期~16期)、グッドデザイン賞 審査委員(2019年~)、平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)



一般お問合せ先 株式会社 関屋リゾート  
プレスお問合せ先 株式会社 ハウ

MAIL : galleriamidobaru@gmail.com  
MAIL : pressrelease@how-pr.co.jp

TEL : 0977-76-5303  
TEL : 03-5414-6405